令和6年度 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会 監査報告書

岐阜大学特定機能病院外部監査委員会規程第3条に基づき、岐阜大学医学部附属病院の医療安全管理に掛かる体制及び業務の状況について監査を実施いたしましたので報告いたします。

1 監査方法及び監査項目

(1) 監査方法

令和6年度の医療安全管理に係る体制及び業務の状況等について、令和6年7月3日、令和7年2月18日の両日に外部監査委員会を開催し、病院長及び関係職員からのヒアリング、関係書類の確認により実施。

(2) 監査項目

- ① 医療安全管理の体制について
 - i 特定機能病院間相互ピアレビューについて
- ② 医療安全管理における体制、部門の業務状況について
 - i 業務の執行状況について
 - ii 医療安全研修等について
 - iii インシデント・合併症報告について
 - iv 死亡例分析について
 - v 医療事故調査について
 - vi 拡大医療安全管理室員会議の活動報告について
 - vii 医療安全向上に関わるルール作成について（ロボット支援手術関連）
- ③ 医療機器部門の業務状況について
 - i 重点医療機器の点検状況について
- ④ 医療放射線安全管理部門の業務状況について
 - i 医療放射線線量管理報告について
 - ii 重点医療機器の点検状況について
- ⑤ その他
 - i 臨床倫理室の活動状況について
(高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器、生命倫理を伴う緊急医療行為の実施状況に関する報告、業務内容の見直しについて)

2. 監査結果

(1) 監査項目ごとの状況

①医療安全管理の体制について

令和7年度から医療安全専従看護師が1名から2名体制になるとのことなので、引き続き体制強化に努めてもらいたい。

②医療安全管理部門の業務状況について

医療安全に関する研修の実施、インシデント・合併症報告等の取り組み等が着実に実施されている。

インシデント報告について、特に研修医からの報告が大きく増加している点、転倒、転落における重要度の高いインシデントが減少している点が評価できる。

また、研修医に対して具体的な目標をたてて報告を促し、指導医からも報告を指導する取り組み等を実施している。

ロボット手術における医療安全向上に関わるルール作成については、最先端のロボット手術においてルール化したもので、医療安全向上に関わる先駆的な取り組みであり評価できる。

医療安全に関して設定した目標において、一部未達成だった部分について、引き続き医療安全確保のための業務改善計画の目標を掲げ、面談や支援等を通じ努力していただいているが、より一層の取り組みに期待したい。

③医療機器部門の業務状況について

医療機器の点検状況について適切に実施されている。医療機器が増加しているため、情報共有など引き続き努めてもらいたい。

④医療放射線管理部門の業務状況について

医療放射線線量の管理状況、及び放射線機器の点検状況について適切に実施されている。放射線被ばくの基準値について、大学病院だけではなく、関連の大きな中枢機能を担う病院の平均程度の値が設定されていることを確認した。

⑤その他

臨床倫理室において、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、未承認新規医療機器、生命倫理に伴う緊急医療行為の実施協議について、倫理に基づきチェックし、案件に応

じて、対面、書面会議の開催を実施し、質の担保にも有用な取り組みを実施していると考えられる。特に高難度新規医療技術については、承認後のフォローがしっかりされており評価できる。

(2) 監査結果について

令和6年度の医療安全管理に係る体制及び業務の状況等については、おおむね適正に執行されている。

令和7年6月23日

岐阜大学特定機能病院外部監査委員会

委員長 富田 栄一

委員 中西 敏夫

委員 清住 一孝

委員 青木 昇平

委員 王 志剛